

コンクリート構造物・成型品破損部補修

鋼板接着工法シール材

タックダイন

B G - 2 0 0 G

ファイバーダイン株式会社

F I B E R D I N E

コンクリート構造物・成型品破損部補修

鋼板接着工法シール材

タックダイン BG - 200G

タックダイン BG - 200G は、パテ状のコンクリート補修材及び鋼板接着工法用シール材であり、作業性、成型性に富み、工場施工でも現場での応急補修においても必要量の材料を混合するだけで簡単に施工できるように加工されてあります。

『 特 徴 』

- 1．モルタル、コンクリート、鋼板に強力に接着します。
- 2．作業性、成型性に優れています。
- 3．耐水性、耐候性に優れています。
- 4．硬化収縮が微小です。

『 用 途 』

- 1．コンクリート構造物の欠落部、鉄筋露出部、ジャンカ等欠損部の補修。
- 2．建築物の配管貫通部等の埋め直し。
- 3．鋼板接着工法用シール。

『 使用方法 』

- 1．施工面の脆弱層、レイトンス、錆、ゴミ、汚れ油分等を除去する。
- 2．主剤、硬化剤を定められた配合比（100：50）で計量してください。
- 3．主剤と硬化剤が均一になるまで充分に混合攪拌して御使用ください。
攪拌が不十分な場合は完全硬化しない部分が生じます。
- 4．樹脂施工面の成型には、コテ切れを、良くするために少量の水を使用するともできます。
- 5．施工後樹脂が硬化するまで充分に養生してください。

『 性 状 』

項 目	主 剤	硬 化 剤	試験方法
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン	————
外 観	白色パテ状	暗灰色パテ状	————
配 合 比	主剤 / 硬化剤 1 0 0 / 5 0 (重量比)		————
比 重	1 . 4 5	1 . 6 7	JIS K 6833
	1 . 5 1 (硬化物)		JIS K 7112
可 使 時 間	6 0 分 (2 0 1 k g)		温度上昇法
指触硬化時間	4 時間 (2 0 5 0 0 μ)		RC 型乾燥時間測定法

『 物 性 』

項 目	強 さ	試 験 方 法
引 張 強 さ	2 2 . 5 N/mm ²	JIS K 7113
圧 縮 強 さ	6 1 . 7 N/mm ²	JIS K 7208
曲 げ 強 さ	3 5 . 3 N/mm ²	JIS K 7203
圧縮弾性率	1 . 5 × 1 0 ³ N/mm ²	JIS K 7208
引張せん断接着強さ	2 1 . 1 N/mm ²	JIS K 6850
硬 さ	8 5 H D D	JIS K 7215
シャルピー - 衝撃値	2 . 0 N・mm/mm ²	JIS K 6911

養生 2 0 7 日間、
試験温度 2 0

『 使用上の注意点 』

- 1 . エポキシ樹脂は一度に多量に混合いたしますと発熱が著しくなり、可使用時間が短くなりますので、作業に応じて適量で行ってください。
- 2 . 溶剤は施工器具等の洗浄以外には使用しないでください。
- 3 . 樹脂を使用するときは、火気、喚起等に充分に気をつけてください。
- 4 . 労働衛生上、害の少ないものを使用していますが、できるだけ、直接皮膚に触れないようにしてください。もし、直接皮膚に触れたときは、直ちに石鹼等でよく洗い流して下さい。目に入った場合はただちに流水でよく水洗いし、速やかに医師の診断を受けてください。

『 荷 姿 』

1 ケース 9 k g (4.5 k g × 2 セット)

1 セット 4.5 k g (主剤：3 k g 硬化剤：1.5 k g)

コンクリート構造物・成型品破損部補修
鋼板接着工法シール材
タックダイン
B G - 2 0 0 G
技術資料

ファイバーダイン株式会社

F Ì B E R D I N E

項 目

1 . 性 状

比 重

a . 主剤及び硬化剤

b . 硬化物

可使時間

指触硬化時間

2 . 物 性

圧縮強さ

曲げ強さ

引張強さ

引張せん断接着強さ

付着強さ

曲げ接着強さ

1. 性 状

比 重

a. 主剤及び硬化剤（JIS K 6833 に準じる）

20 の温度の調整した主剤及び硬化剤の比重を

JIS K 6833 6.1.1 に規定されている容器 100 ccの比重カップを用いて測定した。

タックダインBG - 200G の比重

	比 重 （ 2 0 ）	
	主 剤	硬化剤
1	1 . 4 5	1 . 6 8
2	1 . 4 7	1 . 6 5
3	1 . 4 4	1 . 6 7
平 均	1 . 4 5	1 . 6 7

b. 硬化物

20 7日間養生させたタックダインBG - 200Gに比重を

20 において JIS K 7112 B法(ピクノメータ法)に準じて測定した

タックダインBG - 200Gの硬化物比重

	a	b	c	比重(a/b-c+a)
1	2.1514	55.7883	56.5200	1 . 5 2
2	2.5213	"	56.6512	1 . 5 2
3	2.4458	"	56.5923	1 . 4 9
平均				1 . 5 1

a：試料の質量（g）

b：ピクノメーターの標線までの精製水を満たした時の質量（g）

c：試料の入ったピクノメーターの標線までの精製水を満たした時の質量（g）

・ 可使時間（温度上昇法）

20 の温度に調整した主剤と硬化剤を 20 の雰囲気下で混合攪拌し、直ちに中心部の温度の測定を開始し、最高発熱温度到達時間を求め、これの 50 %を可使時間とした。

ただし、主剤、硬化剤の総量は、500 g とした。

タックダイン B G - 200 G の可使時間

	最高発熱温度	最高発熱温度到達時間	可使時間
1	40	123分	62分
2	43	125分	63分
3	41	118分	59分
平均			61分

指触硬化時間

R C 型乾燥時間測定器を用いて乾燥時間を測定し、2 次線状痕開始点を指触硬化時間とした。なお、測定は 20 、500 μ 厚さで行った。

タックダイン B G - 200 G の指触硬化時間

	指触硬化時間（2 次線状痕開始点）
1	4 . 4 時間
2	3 . 8 時間
3	4 . 0 時間
平均	4 時間

2. 物 性

圧縮強さ (JIS K 6911 に準じる)

タックダイン B G - 2 0 0 G の圧縮強さを JIS K 6911 5.19.1 に準じて測定しました。なお、硬化養生は 2 0 7 日間、試験温度は 2 0 とした。

タックダイン B G - 2 0 0 G の圧縮強さ

	幅(mm)	厚さ(mm)	最大荷重(N)	圧縮強さ(N・m m ²)
1	12.80	12.75	10192	62.4
2	12.60	12.65	9937	62.3
3	12.80	12.70	9976	61.3
4	12.75	12.60	10104	62.9
5	12.60	12.80	9859	61.2
平均				62.0

圧縮強さ F / ab F : 最大荷重(N) a : 試験片の幅(mm)

b : 試験片の厚さ(mm)

曲げ強さ (JIS K 6911 に準じる)

タックダイン B G - 2 0 0 G の圧縮強さを JIS K 6911 5.17 に準じて測定しました。なお、硬化養生は 2 0 7 日間、試験温度は 2 0 とした。

タックダイン B G - 2 0 0 G の曲げ強さ

	幅(mm)	厚さ(mm)	最大荷重(N)	曲げ強さ(N・m m ²)
1	10.00	4.00	59.3	35.6
2	9.80	3.95	59.0	37.0
3	9.85	3.95	56.2	35.1
4	9.90	3.90	55.7	35.5
5	10.10	3.95	56.6	34.5
平均				35.6

曲げ強さ $3 F L / 2bh^2$ F : 最大荷重(N) L : 支点間距離(64 mm)

b : 試験片幅(mm) h : 試験片の厚さ(mm)

引張強さ（JIS K 6911 に準じる）
 タックダイン B G - 2 0 0 G の圧縮強さを JIS K 6911 5.18.2 に準じて
 測定しました。なお、硬化養生は 2 0 7 日間、試験温度は 2 0 とした。

タックダイン B G - 2 0 0 G の引張強さ

	幅(mm)	厚さ(mm)	最大荷重(N)	引張強さ(N・m m ²)
1	10.15	4.70	1049	22.0
2	9.90	4.85	1186	24.7
3	9.95	4.65	1068	23.1
4	10.00	4.80	1009	21.1
5	9.85	5.00	1176	23.9
平均				22.9

引張強さ F / bh

F : 最大荷重(N)

b : 試験片幅(mm) h : 試験片の厚さ(mm)

引張せん断接着強さ（JIS K 6850 に準じる）
 タックダイン B G - 2 0 0 G の引張せん断接着強さを JIS K 6850 に準じて
 測定しました。なお、硬化養生は 2 0 7 日間、試験温度は 2 0 とした。

タックダイン B G - 2 0 0 G の引張せん断接着強さ

	接着幅(mm)	接着厚さ(mm)	最大荷重(N)	接着強さ(N・m m ²)
1	12.50	25.00	6801	21.8
2	〃	〃	6713	21.5
3	〃	〃	6566	21.0
4	〃	〃	6399	2.05
5	〃	〃	6664	21.4
平均				21.2

引張せん断接着強さ F / ab F : 最大荷重(N)

a : 接着面の幅(mm) h : 接着面の長さ(mm)

付着強さ（ JIS A 6909 に準じる ）
 タックダイン B G - 2 0 0 G のセメントモルタルへの付着強さを
 JIS A 6909 に準じて測定しました。
 なお、硬化養生は 2 0 7 日間、試験温度は 2 0 とした。

タックダイン B G - 2 0 0 G の付着強さ

	接着幅(mm)	接着厚さ(mm)	最大荷重(N)	接着強さ(N・m /m ²)
1	40.0	40.0	3469	2.2
2	〃	〃	3244	2.0
3	〃	〃	3185	2.0
4	〃	〃	3107	1.9
5	〃	〃	3371	2.1
平均				2.0

引張せん断接着強さ F / ab F : 最大荷重(N)
 a : 接着面の幅(mm) h : 接着面の長さ(mm)
 破壊状態 : いずれもモルタル破壊

曲げ接着強さ（ JIS A 6024 に準じる ）
 タックダイン B G - 2 0 0 G の曲げ接着強さを JIS A 6024 に準じて測定し
 ました。なお、硬化養生は 2 0 7 日間、試験温度は 2 0 とした。

タックダイン B G - 2 0 0 G の付着強さ

	接着幅(mm)	接着厚さ(mm)	最大荷重(N)	接着強さ(N・m /m ²)
1	40.0	40.0	2646	6.2
2	〃	〃	2842	6.7
3	〃	〃	2793	6.6
4	〃	〃	2597	6.1
5	〃	〃	2744	6.5
平均				6.4

引張せん断接着強さ $1/2 F / bh^2$ F : 最大荷重(N)
 b : 接着面の幅(mm) h : 接着面の長さ(mm)
 破壊状態 : いずれもモルタル破壊